

持続可能な公共交通について



伊賀 純 議員



質問…2024年問題で、運転手の1日の労働時間の短縮、時間外労働の上限規制を受け、運転手不足の理由で市営バスが5路線で23便の減便となります。高齢化すれば公共交通の重要性は増し、市営バスは生活の基礎的インフラとしての移動手段です。新年度予算では、公共交通予算として約3億6400万円が計上されました。経費が年々

増額される現状認識を伺います。
答弁…減便による運行経費の影響は、燃料費などの物価高騰に加え、良質な運転者を継続的に確保するためには、賃金水準の見直しや職場環境の整備等が必要になることから、減額は見込めないと考えています。

あると思うが、認識を伺います。
答弁…指名競争入札での契約であり、事業所側の勤務状態や会社の状態の把握はありませんが、今後、民間への路線の移譲も考えていかなければならないと考えており、その時には経営状況、内部の状況等々を審査の対象としていくような形も今後は考えていかなければならないと思っています。

一般質問



大豆生田 春美 議員



視覚障がい者の情報取得について

質問…「音声コード」の利用促進をする必要性を感じますが、本市の考えを伺います。

報おおたわら」等については、デジタルCD版が適していると考えます。しかしながら、音声コードの利用促進については、

を言われましたが、前向きな検討と捉えてよろしいか伺います。
答弁…全庁的にすぐというのはできません。まず、福祉課の事務の中で、今ここで何ができるかということは申し上げられませんが、今後何に使えるかを検討しまして、何らかの事務に導入していきたいと前向きに考えています。

答弁…音声コードを読み取るためには、例えばユニボイスというスマートフォンアプリがあります。このアプリをインストールし音声コードを読み取ること、紙面の内容を読み上げるシステムですが、文字数に制限があるため、文字数の多い「広

視覚障がい者だけではなく小さい文字が見えづらい高齢者、その他文字を読むことが困難な方などにも有効な手段であると考えられますので、今後情報収集の上、検討します。

質問…ただいま検討ということ